

令和2年12月(2020年) No. 660

コロナ第3波襲来下の映写会

来場者およそ80名「も」か「しか」か

準緊急事態下での OMC 映像フェスティバルの総括

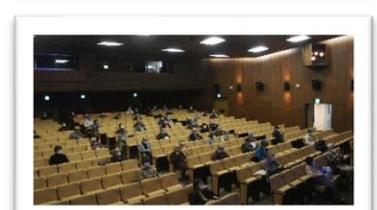
11月28日(土)朝日生命ホールで開催した第60回 OMC 映像フェスティバルは、あいにく新型コロナ第3波襲来下で、外出控えのモード漂う雰囲気のもと、さてどれだけの人に来て頂けるのか全く予想のつかない状況であった。先月開催した大阪アマチュア映像祭の時は、申し込み制で140数名の申し込みがあり、90名に絞った経験があり、それを一つの参考にしていただいていたのだが、今回は先月より更にコロナ禍が一段と進行し、大阪府も映写会当日の感染者463名を記録。各ご家族からも外出を控えよとの声が多かった。

さて、結果的におよそ80名の入場者があった。コロナ禍がなければ200名の入場者が予想されたのに半分以下だった。コロナ対策上はソーシャルディスタンスが十分に確保されたが、さて、この80名という数字をどう評価するか、である。

この厳しい条件下で80名“も”来て頂いた、と見るか、80名“しか”集まらなかった、と考えるか、であるが、何とか60回記念の映写会が無事終わった、というほっとした感じが本当の気持ちではある。

来年3月28日(日)の第39回日本を縦断する映像発表会は、大阪市立中央図書館との共催事業で、先月行われた大阪アマチュア映像祭と同じく定員90名となるので今回も申し込み制となる筈である。

いずれにしてもコロナ騒ぎが早く収まってくれることを祈るばかりである。



12月例会のお知らせ

- 通常例会 ; 第4土曜日26日18時より開催。今年最後の例会です。
- 幹事会 ; 例会当日の13時より ■世話役会 15時より開催よろしく。
- 年会費 ; 一万円会計へ納めて下さい

第 60 回 OMC 映像フェスティバル 会長あいさつ 要旨

本日はようこそおいで下さいました。この 11 月末頃にはコロナはもう治まっているのではないかと、この 2 月頃から計画していたのですが、このところ第 3 波が押し寄せて、出歩くのも控えてほしいとテレビ等でも盛んに言うておられてこの発表会もどうなることか、止めなけりゃいかんかと思いました。しかし映画館のような場所で人が大声を出さないところは、いまのところ規制がかかっておりませんので、予定通り開催することにいたしました。

しかし、ご家族等から外出は控えるようにと止められたので行けません、というお電話があったり、遠方の方から GoTo トラベル利用していくからと言って下さっていたグループのメンバーから、やはり大阪行きはこの状態では断念せざるを得ない等という連絡がありました。

例年ですと本日のおお客様の 3 倍くらいは来場者があったのではないかと考えていますが、新型コロナっていうのは怖いですね。

しかし私共もコロナ対策にはいささか慣れてきましたネ。マスクをする、手を洗う、手指の消毒をする、或いは人と人との距離を保つ、ソーシャルディスタンスとか、コロナに依って横文字が増えましたが、いささか慣れてきました。

こうしたコロナ騒ぎのなか、本日ご来場頂きました皆様には感謝以外の何物でもありません。ご家族の反対もあった方もあろうかと思えます。

考えてみますと、ステイホームとか、じっと家に居ればコロナの心配は無いかも知れませんが、一方では、心にも体にも良くありません、やはり人間は人と人との触れ合いがあつてこそ、人生の充実感が湧くのではないのでしょうか。行きたいところがあつたら外に出る、人と触れ合う、今日もこの会場に皆さんマスクをして、ソーシャルディスタンスを十分に取って来て頂いている、体温も測らせていただきました。万一の場合に備え、保健所等への連絡の為、連絡先も教えて頂きましたが、これがむしろ不要になることを願っております。

さて、私がこの大阪ムービーサークルの会長を引き受けたのは四代目。先輩たちが築いてきた歴史ある発表会を、このコロナのせいで途絶えてしまうのは避けたいと思いついて開催したのですが、60 回記念というのは忘れ得ぬ発表会になることでしょう。

こうして 60 年間、続けて来られたのもこのように大勢の方達が、私共の発表会を楽しみに来て頂いた歴史の積み重ねでございます。

今後も発表会を続けていくかは後輩たちの努力次第ではございますが、若い人たちがなかなか入ってこれないとか、SMS とか他の媒体が盛んな今、どう、ビデオによるアマチュア映像の世界を守っていくか、課題でございます。本日は誠にご来場ありがとうございました。最後までごゆっくりご覧ください。

11 月例会レポート

■運営担当：司会 進藤、書記 高瀬、映写 坪井、メモリー記録 江村受付 照明 森下、宮崎の各氏

■出席者：江村、岡本、進藤、関、高瀬、坪井、中川、宮崎、森下、山本の 10 氏 堀氏は作品のみ
上映作品（書記は高瀬氏）

1. 黒川ダリア園

BD

進藤信男

9 分 50 秒

（作者コメント）

コロナ禍の状況の中、催し事がどんな様子なのかを追って見ました。里山風景に包まれた川西市黒川。減少していく住民の寂しい気持ち話が語られていますが、行政の支援を受け懸命に地域に生きようとしていることでもあります。近くにありながらあまり知られていない地区だけに、これをきっかけに四季それぞれの移ろいを追うきっかけになればと思われました。



実は、これまで 3 回訪れて撮影の機会をとらえようと試みたがすべて門前払いを受けたところでもありました。今回も、1 日おきに 3 回訪れてようやく口を開いてもらえた。マスク姿でのインタビューでしたが、今の社会環境も分かりひとつの記録となるのではないかと思っている。40 分近くを一気に話してくれたのは

感謝でした。一方、手近にあるダリアという花についてほとんど知らなかったことも分かりました。少し落ち着いて、作品づくりを見直しながらの取り組みとすることにしたい。

(書記コメント)

ダリアの品種の多さに驚かされた。ダリア園代表へのインタビューなどに力のこもった作品ということが感じられる。

2. この街をもう一度 BD 堀 皓二 8分50秒

(作者コメント)

阪神・淡路大震災の時、1カ月ほどしてから、連日、取材のため神戸に入りました。損保で働く社員たちの証言を中心にドキュメントを制作しました。

(書記コメント)

これまでに何度か拝見しているが、毎回、カットの入れ替えなどで改作されており、今回も手直しし、より深みのある作品に仕上げられている。



3. 登録文化財 岩根家住宅 DVD 宮崎紀代子 11分20秒

(作者コメント)

江戸時代から続いている旧家は2004年に登録有形文化財に登録された。普段は非公開になっているが、2016年秋に公開されたのを機に見学した。短時間ではあったが、庭に築かれた樽丸を見たのは初めてで、酒造業ならではの遊び心に感心した。レンガの煙突が町のシンボルとなるよう、いつまでも見守ってほしいものです。

(書記コメント)

案内人の説明を中心に丁寧に描かれている。大きな樽丸の茶室の映像はユニークで、インパクトがあります。



4. 霊源院「令和の庭」へ BD 中川良三 4分57秒

(作者コメント)

霊源院に着いたのは午後4時。もうメ切り時間ギリギリであったが、住職のはからいで見学することが出来、また庭の細部に亘る説明も自らして頂き感謝感激だった。この庭は2020年5月23日に完成した新庭園で「鶴鳴九阜 (かくめいきゅうこう)」と呼ぶ。かつてはアジサイの一種である「甘茶」がメインの「感露庭」であったが、足立美術館の庭園を手掛けた中根金作が創設した中根庭園研究所によって美しい枯山水に生まれ変わった。

(書記コメント)

庭の説明のナレーションがずっと続くので、やや単調になったところで、住職の説明を入れられ、これが作品全体を引き締めている。



5. ヴェローナを訪ねて BD 山本正夢 8分

(作者コメント)

ヴェローナ旧市街は古い町並みが多く残り、世界遺産に登録されています。シェイクスピアのロメオとジュリエットはここを舞台に描かれました。

(書記コメント)

円形闘技場の遺跡、ロメオとジュリエットの里と、まさにイタリアという風景をみせていただいた。特に冒頭の朝靄に煙る数カットは秀



逸。

6. 鍛冶屋原線 BD 江村一郎 7分30秒

(作者コメント)

鍛冶屋原線は徳島県の板野駅から6.9km先の鍛冶屋原駅までを結んでいた。廃線後はほとんどが道路に転用して駅跡標識以外は残っていない。当時を知るには町立歴史民俗資料館での写真とネットからの画像に頼るしかなかった。戦争中の昭和18年にはレールを供出し、昭和22年に再開するも昭和39年に国鉄が赤字に陥ると、盲腸線ということもあって、四国でも1、2を争う赤字路線であったので真っ先に廃止となった。



(書記コメント)

駅跡の標識しか残っていない廃線跡をどう描写するかは難しいところですが、古い写真などを使い、手慣れた構成でまとめられている。

7. 小野郷の落葉神社 BD 高瀬辰雄 8分

(作者コメント)

京都市北区の小野郷は京都の中心地から高雄、北山杉の里を通り、バスで約1時間。山間の小さな集落です。清滝川沿いにある落葉神社は落葉姫命を祀る。落葉姫は源氏物語に登場する架空の人物。運命に流されるままに生きた落葉姫の想いはイチョウの隠れ名所にふさわしい風景と溶け合っている…をテーマに構成してみました、表現できたかどうか？



8. 悪魔の呪文 (アニメ) BD 関剛 6分35秒

(作者コメント)

昭和40年代前半、第一次石油ショックが始まり、千載一遇のチャンスとばかり、商社と政治家が結託して悪業の限りを尽くした。ガソリンは高騰、トイレットペーパーや洗剤などが店頭から消え、庶民の生活は困窮。当時の総理は田中角栄、官房長官、中曽根康弘。名画モナリザを呼んで、大衆の怒りを、なんとか押さえることに成功。



(書記コメント)

1970年代当時の社会情勢を思い出しました。それにしても「或る日のパロディ」(第2例会)にせよ登場人物の似顔絵がそっくりなのは驚きです。

11月第二例会レポート

■運営担当：司会 進藤、書記 高瀬、映写 岡本、メモリー記録 中川、受付 照明 森下、宮崎の各氏

■出席者：植村、江藤、江村、岡本、上総、紙本、合原、進藤、関、高瀬、中川、宮崎、森下、山本の14氏 堀、山口両氏は作品のみ

上映作品 (書記は高瀬氏)

1. 五條新町 BD 江村一郎 7分50秒

(作者コメント)

吉野川沿いで交通の要衝でもあった五條。江戸初期の城下町として開かれた。現在は重要伝統建造物群保存地区として、江戸から明治の建物が並ぶ旧街道の面影が色濃く残された五條新町。また明治維新のさきがけとなった「天誅組」ゆかりの町でもある。さらに未成線となった幻の五新線の遺構が残る。



(書記コメント)

撮影の途中で雨が降ると気持ちが萎えるが、作者はチャンスとばかり、幻の五新線の哀れさを雨の情景で上手く表現されている。

2. 旧邸御室「新緑の薫」

BD

中川良三

5分49秒

(作者コメント)

新緑の京都を訪れた。郊外邸宅建築と日本庭園。仁和寺のすぐ隣に「旧邸御室」は佇みます。築80年を超え、郊外邸宅建築としては保存状態がよく、国登録有形文化財に登録されています。数寄屋造りの邸宅、美しい日本庭園、木造平屋建ての茶室双庵と、実に由緒ある邸宅です。座敷に置かれた、かりんの木のテーブルに映る庭が映えます。



(書記コメント)

ラストのかりんの木の机に映る庭の色調を変えての映像表現はBGMも合っていて、面白い試み。

3. わたし幸せよ

BD

堀 皓二

6分50秒

(作者コメント)

主人公は映像北大阪の会員さん。奥さんを亡くしてから、生存中、余りかまってやる事が出来なかったと悔いる日々を過ごしていた。ある時、奥さんが「私幸せよ」と言った事を思い出した。そのことで気持ちが救われた。主人公の語りをナレーションにして絵をはめていった。ドキュメントです。



(書記コメント)

こうした人物を描いた作品はさすがに作者ならではのものがあります。

4. ポスポラス海峡

BD

山本正夢

7分50秒

(作者コメント)

訪れた10年前には2つの橋しかなかったが、今、第三の橋が2016年完成、地下鉄も2013年開通しました。



(書記コメント)

いつものことながら海外の珍しい風景を楽しませてもらった。アジアとヨーロッパを隔てる海峡ということだが、渡し船があり、橋は車が行き交い、地下鉄もあるのはなぜかと思い、ネットで調べると、両岸ともトルコのイスタンブールということで納得。

5. 東淀川歴史散歩 (前編)

BD

紙本 勝

13分30秒

(作者コメント)

自分の住んでいる東淀川の地域には、名所旧跡に及ばなくても、どんな史跡があるのだろうと思い立って、自転車で取材、区を東西に分けて編集してみました。



(書記コメント)

寂光寺、大隅神社、稲生神社…数えてみると、社寺だけで12カ所訪れ、一つひとつ由来などを紹介されており、大変な労作、後編が楽しみです。

6. たけのぶさん

BD

高瀬辰雄

8分

(作者コメント)

近所の武信稲荷神社は「たけのぶさん」と呼ばれ、親しまれています。境内には榎の大木があり、坂本龍馬にまつわる話や一寸法師がここに住んでいたという説もあります。これらを邦楽のイベント



と合わせ、まとめてみました。

7. 水車の季節

DVD

合原一夫

6分6秒

(作者コメント)

福岡県朝倉郡朝倉町（現在・朝倉市）は筑後川に面する田園地帯である。江戸時代から筑後川の水を用水路に流し、水車を用いて田んぼに水を張って米を育ててきた。そのため3連や2連の水車が活躍し、今日まで続いている。先年の福岡地方を襲った大水害で水没したが、今では復活し、田植えの季節になると活躍しているという。福岡県の文化財に指定され、観光名所になっている。

(平成14年撮影)

(書記コメント)

水車をテーマに、アップの映像を重ねた編集などで迫力のある作品に仕上げられています。



8. 令和2年秋季例大祭（石津神社）

BD

上総秀隆

9分54秒

(作者コメント)

例年はだんじりと、ふとん太鼓の双方が宮入りして賑わう石津神社（堺市堺区）であるが、令和2年は参拝者限定、時間短縮して本殿の神事のみが粛々と斎行された。

(書記コメント)

神事、特に神主の所作はゆっくりしており、作品に収めるには間延びする。作者は一部早送りで編集されているが、カット割という手もあるなど、いつも撮影、編集に苦勞するシーンでもあります。



9. 或る日のパロディ（アニメ）

BD

関剛

3分10秒

(作者コメント)

8ミリ時代に作ったアニメのうち、第7作目。党内からあまり援護がなかった大平内閣が社会党からの不信任案で解散。しかし選挙中に大平さんが脳梗塞で亡くなった。当時の人気者、ドリフターズの「ひげダンス」で風刺。

(書記コメント)

1980年、今から40年前の作品ですが、アニメの画といい、風刺の内容といい、色褪せていない面白さがあります。



10. ホールン・メデンブリック鉄道

BD

山口幸代

13分50秒

(作者コメント)

オランダを旅したときの記録。ホールンという田舎町からおもちやのような列車に乗って、約50キロを2時間かけて小さな港町、メデンブリックまで行きました。

(書記コメント)

列車の出発から車窓の風景、列車内の様子、そしてメデンブリックに到着するまでを落ち着いた映像で描写されている。



11. 即位礼正殿の儀の台湾

BD

江藤洋司

5分24秒

(作者コメント)

令和元年10月22日は、即位の礼で、その年限りの休日だったため、前年と同じ月に旅行して気温が過ごしやすく最適だと思い、台湾に旅行に行った。私は中国語ができないので、知人の台湾人に面会の約束をお願いしていた。

(書記コメント)

作者独特の語りで、台湾を旅行し、蔡焜霖先生との出会いを描かれている。

